

体育学研究科体育学専攻（博士後期課程）担当教員一覧（令和4年1月現在）

①研究指導担当教員（指導教員又は副指導教員となり得る教員）

区分	氏名（職名）	担当授業科目	研究領域
研究指導担当教員	小澤雄二 (教 授)	・体育・スポーツの 学際的科学論I【KR】 ・身体教育特殊研究A【KR】 ・身体教育特殊研究演習A【KR】	1) 尿中および血中成分の変動を指標とした武道のトレーニング特性の検討 2) 安全で効果的な武道の指導のための用具の研究・開発 3) 柔道の授業のための実践的指導プログラムの研究・開発 4) 柔道選手の競技力向上に関する研究 以上の4つの方向から主に研究を行っている。
	高橋仁大 (教 授)	・コーチング学特殊研究 ・コーチング学特殊研究演習	スポーツにおける戦略・戦術分析のためのゲームパフォーマンス分析ならびにPerformance Analysisを行っている。特に映像を用いた分析ならびにフィードバック手法、またゲームパフォーマンス分析を基にしたゲームパフォーマンス評価に関する研究を進めている。これらの研究が実験室の研究で終わることなく、スポーツの実践場面に貢献できるような、フィールドでの実践的活動も重点的に行う。
	田巻弘之 (教 授)	・体育・スポーツの 学際的科学論I【KR】 ・体力科学特殊研究 ・体力科学特殊研究演習 ・体力科学特殊研究【夜間】 ・体力科学特殊研究演習【夜間】	疲労及び筋持久力の改善に関する神経-筋系の制御機構や、運動刺激が筋・骨格系の組織細胞の形態や機能に及ぼす影響に関する領域をテーマとしている。また加齢や不動によって骨や骨格筋がどのように萎縮するのか、どのような運動・トレーニングで防止できるのか等について組織・細胞を各種顕微鏡で観察して解明しようとしている。
	中垣内真樹 (教 授)	・ヘルスサイエンス特殊研究 ・ヘルスサイエンス特殊研究演習	中高齢者を対象として健康づくり、介護予防のための運動の実践方法やその効果について研究している。地域での効果的な運動の普及を目指して運動プログラムを作成し、実際に地域等で実践指導をしてその効果を検証しながら運動の有用性や意義を明らかにしている。
	藤井康成 (教 授)	・スポーツ医科学特殊研究 ・スポーツ医科学特殊研究演習	スポーツ医学における整形外科的疾患の予防と運動療法について、特に肩・肘の上肢、膝・足の下肢関節のスポーツ障害を中心に、その病態や治療法、予防法に関する研究を行う。スポーツ選手の身体機能を評価するメディカルチェックを通して、体の柔軟性やアライメントの評価法から障害予防のためのトレーニング法などについても研究をすすめる。
	前田明 (教 授)	・体育・スポーツの 学際的科学論II【KR】 ・スポーツバイオメカニクス ・スポーツバイオメカニクス ・スポーツバイオメカニクス ・スポーツバイオメカニクス ・スポーツバイオメカニクス ・特殊研究【夜間】 ・スポーツバイオメカニクス ・特殊研究演習【夜間】	運動技術の習得を力学的に得るためにモーションキャプチャーシステム、ハイスピードカメラ、フォースプレート等を用いてバイオメカニクス的に動作を分析する。競技力向上に関するトレーニング効果をバイオメカニクス的見地から考察する。
	森司朗 (教授・副学長)	・体育・スポーツの 学際的科学論I【KR】 ・スポーツ心理学特殊研究 ・スポーツ心理学特殊研究演習 ・スポーツ心理学特殊研究【夜間】 ・スポーツ心理学 ・特殊研究演習【夜間】	1) 幼少年期の心身両面からの運動発達 2) 運動認知メカニズムや運動学習のプロセスなどの理論的な研究及びメンタルトレーニングや認知トレーニングへの応用 3) コミュニティ心理学的アプローチを通して自閉症児の治療教育などの実践的研究 4) 脳内神経連絡経路などの基礎研究 以上の4つの方向から主に研究を行っている。
	山田理恵 (教 授)	・体育・スポーツの 学際的科学論II【KR】 ・スポーツ史特殊研究 ・スポーツ史特殊研究演習 ・スポーツ歴史人類学 ・特殊研究【夜間】 ・スポーツ歴史人類学 ・特殊研究演習【夜間】	人間の「身体」や「身体運動」とそれらをめぐる諸現象について、歴史的考察を行っている。特に伝統スポーツに着目し、ドイツと日本の場合を中心に、それぞれの伝統的なスポーツ文化にみられる特性や文化変容の過程について考察している。
	山本正嘉 (教 授)	・トレーニング科学特殊研究 ・トレーニング科学特殊研究演習 ・トレーニング科学 ・特殊研究【夜間】 ・トレーニング科学 ・特殊研究演習【夜間】	スポーツパフォーマンスの制限要因となる瞬発力、持久力、疲労、回復能力などを改善するためのトレーニングやコンディショニング法に関する実践的な研究。各種スポーツにおける専門体力やパフォーマンスの測定と評価に関する研究。低酸素（高所）環境を利用したトレーニングの研究。登山やクライミングなど、アウトドアスポーツの運動生理とトレーニングに関する研究。
	高井洋平 (准教授)	・体育・スポーツの 学際的科学論I【KR】 ・トレーニング科学特殊研究 ・トレーニング科学特殊研究演習 ・トレーニング科学 ・特殊研究【夜間】 ・トレーニング科学 ・特殊研究演習【夜間】	発育期の子ども、高齢者およびスポーツ選手を対象に、身体組成、筋機能および運動能力におけるトレーナビリティに関する研究を、運動生理学的およびバイオメカニクス的手法を用いて行っている。
	中本浩揮 (准教授)	・体育・スポーツの 学際的科学論I【KR】 ・スポーツ心理学特殊研究 ・スポーツ心理学特殊研究演習	スポーツの熟達化をテーマとし、優れた競技者の視覚システムおよび予測能力と運動修正能力といった知覚・認知技能の特徴やその獲得方法について、心理物理学、生理心理学的手法を用いて研究を行っている。
	沼尾成晴 (准教授)	・ヘルスサイエンス特殊研究 ・ヘルスサイエンス特殊研究演習	肥満や生活習慣病の危険因子を改善するための効果的な身体活動や運動方法の開発を目指し、呼気や血液指標（生化学指標、アディポカイン）などを用いて、急性運動や慢性運動のエネルギー代謝（糖代謝、脂質代謝）に及ぼす影響について応用的な研究を進めている。また、中高齢者に対する運動や身体活動を増加させるための方法、またその効果についても検討している。
	藤田英二 (准教授)	・運動処方論特殊研究 ・運動処方論特殊研究演習	アスレティックトレーナーの専門領域であるアスレティックトレーニング、および高齢者の健康づくりについて研究を行っている。アスレティックトレーニングでは、特にスポーツによる外傷および障害予防に関するフィジカルコンディショニングや、そのトレーニング法に関して取り組んでいる。高齢者の健康づくりでは、健常高齢者から低体力の虚弱者まで幅広い層を対象とした運動の手法とその効果について研究している。

②授業担当教員（副指導教員となり得る教員）

区分	氏名（職名）	担当授業科目	研究領域
授業担当教員	金 高 宏 文 (教 授)	・コーチング学特殊研究【夜間】 ・コーチング学特殊研究演習【夜間】	スポーツ運動における「技能の習得」や「動作の改善」時に生じる「コツ・カン」や「フォーム」の変化について調査・測定している。現在は、各スポーツ種目における初心・初級者のコツや技術、その指導・トレーニング方法を探求している。専門はスポーツ運動学及びトレーニング学で、スポーツバイオメカニクスと指導者育成・再研修のカリキュラム論についても取り組んでいる。
	関 朋 昭 (教 授)	・体育・スポーツの 学際的科学論 I 【KR】 ・スポーツ経営学特殊研究 ・スポーツ経営学特殊研究演習 ・スポーツ経営学特殊研究【夜間】 ・スポーツ経営学特殊研究演習 【夜間】	スポーツにおけるビジネス上の問題点、スポーツ組織（クラブ）が抱える課題をマネジメントの視点から研究している。特に学校部活動が主たる研究テーマとなっている。また人文社会科学の研究方法論をベースにしながら「スポーツとは何か」「スポーツの価値とは何か」という原理的な研究も行っている。
	竹 中 健太郎 (教 授)	・コーチング学特殊研究 ・コーチング学特殊研究演習	我国発祥の伝統運動文化である武道（剣道）において、その競技性と文化性の共存に向けたコーチングの探求、構築を目指す研究を推進している。競技力向上の要因、あるいは技術習得の効率性についての実践的な検証と並行し、剣術が現代の剣道に見られる運動形態に発展する過程で伝承されてきた精神性を追求する。競技の発展と伝統文化の継承の二軸の視点から、後世への伝承の方法論について検討している。
	中 村 夏 実 (教 授)	・コーチング学特殊研究 ・コーチング学特殊研究演習	海洋スポーツ種目（特にボート、カヌー）における水上パフォーマンスの評価方法や総合的な競技力の評価体系の確立に取り組みながら、国際的な競漕力の獲得を目指すユニア世代の体力的・技術的目標の設定と目標達成のためのトレーニング方法を探求している。 一方で、海洋スポーツ全般の心身への健康増進効果のエビデンスの蓄積に取り組んでいる。
	安 田 修 (教 授)	・スポーツ医科学特殊研究 ・スポーツ医科学特殊研究演習	ミトコンドリアは生体のエネルギーの殆ど全てを生産し、生体の活動性や老化を左右する重要な細胞内小器官である。運動や骨格筋量がミトコンドリア機能に与える影響に関する生物化学的な研究に取り組んでいる。また骨格筋量が生体の心臓、腎臓の機能や老化に与える影響について血液パラメーターや分子生物学的手法を用いた研究を行っている。
	廣 津 匡 隆 (准教授)	・スポーツ・リハビリテーション 医科学特殊研究 ・スポーツ・リハビリテーション 医科学特殊研究演習	整形外科的スポーツ傷害の発症予防と運動療法について、特に膝・足の下肢や肩・肘の上肢のスポーツ障害を中心に、その病態・予防法・治療法に関する研究を行なう。各スポーツにおけるスポーツ傷害発症のメカニズムを解明し、メディカルチェックなどを通じて個人の身体的特徴を評価することにより、障害予防のための最適なトレーニング法などについて研究を行う。
	三 浦 健 (准教授)	・コーチング学特殊研究【夜間】 ・コーチング学特殊研究演習【夜間】	スポーツにおける技術面、戦術面、試合の運営等に焦点を当て、実践活動に直接寄与する知見を、数値データや画像データを提示することにより、「実践事例研究論文」として作成する方法論を用いた研究を行っている。また、実践事例研究論文作成のための方法論を確立するために取り組んでいる。
	與 谷 謙 吾 (准教授)	・体力科学特殊研究 ・体力科学特殊研究演習 ・体力科学特殊研究【夜間】 ・体力科学特殊研究演習【夜間】	外部刺激に対する身体の反応パフォーマンスについて、時間的側面（反応時間）から中枢（神経系）や末梢（筋系）の時間要素に区分して評価し、各系でのトレーナビリティー等について研究を行っている。
	永 原 隆 (講 師)	・コーチング学特殊研究【夜間】 ・コーチング学特殊研究演習 【夜間】	スポーツ科学を研究領域とし、競技力向上に有用となる知見を得るために研究を行っている。スプリント走学を専門とし、子供から高齢者、アスリートを対象として、スプリント走の機序、評価法、効果的なトレーニング手段の解明を進めている。また、研究に用いる器具やソフトウェアの開発を行っている。
	村 田 宗 紀 (講 師)	・スポーツバイオメカニクス特殊研究 ・スポーツバイオメカニクス 特殊研究演習 ・スポーツバイオメカニクス 特殊研究【夜間】 ・スポーツバイオメカニクス 特殊研究演習【夜間】	力学的な観点から、競技力向上や合理的な動作の要因を理解することを目的とし、スポーツで観察される現象（身体動作や飛翔するボールなど）を逆運動学、逆動力学、コンピュータシミュレーションなどを用いて研究している。

③授業のみを担当する教員

区分	氏名（職名）	担当授業科目
授業のみを担当する教員	川 西 正 志 (非常勤講師)	・スポーツ社会学特殊研究 ・スポーツ社会学特殊研究演習 ・スポーツ社会学特殊研究【夜間】 ・スポーツ社会学特殊研究演習【夜間】
	真 田 久 (非常勤講師)	・スポーツ歴史人類学特殊研究【夜間】 ・スポーツ歴史人類学特殊研究演習【夜間】
	鈴 木 志保子 (非常勤講師)	・スポーツ栄養学特殊研究 ・スポーツ栄養学特殊研究演習 ・スポーツ栄養学特殊研究【夜間】 ・スポーツ栄養学特殊研究演習【夜間】
	宮 地 元 彦 (非常勤講師)	・生涯スポーツ学特殊研究【夜間】 ・生涯スポーツ学特殊研究演習【夜間】
	吉 武 裕 (非常勤講師)	・生涯スポーツ学特殊研究 ・生涯スポーツ学特殊研究演習

【連携大学院（JISS）】

①授業担当教員（副指導教員となり得る教員）

区分	氏名（職名）	担当授業科目	研究領域
授業担当教員	奥脇 透 (客員教授)	・アスリート医科学特殊研究【JISS】 ・アスリート医科学 特殊研究演習【JISS】	さまざまなスポーツ外傷・障害の病態を解明するため、その受傷状況（とくに動作）、症状、画像診断（とくにMRI）、復帰過程（メディカル、およびアスレティックリハビリテーション）等を詳細に分析している。最終的には、それぞれのスポーツ外傷・障害の病態を明らかにすることにより、その予防に向けて取り組む研究を行っている。
	星川 雅子 (客員准教授)	・アスリート・トレーニング科学 特殊研究【JISS】 ・アスリート・トレーニング科学 特殊研究演習【JISS】	アスリートが高い競技パフォーマンスを発揮するために必要となる有酸素性および無酸素性の運動能力、およびコンディショニングに関する研究を行っている。コンディショニングは、特に生体リズムとリカバリーに関する内容を中心に行っている。海外遠征時や早朝・夜間に高い競技パフォーマンスを発揮するための生体リズム操作などが含まれる。
	横澤 俊治 (客員准教授)	・アスリート・トレーニング科学 特殊研究【JISS】 ・アスリート・トレーニング科学 特殊研究演習【JISS】	スポーツバイオメカニクス、特に動作解析やスピード分析にもとづくパフォーマンス評価法について研究している。また、スピードスケート、陸上競技、ボート、トライアスロンなどにおける世界一流選手の動作の特徴や日本選手の課題について検討している。

【連携大学院】

①研究指導担当教員（指導教員又は副指導教員となり得る教員）

区分	氏名（職名）	担当授業科目	研究領域
研究指導担当教員	飯干 明 (特任教授)	・体育・スポーツの 学際的科学論I【KR】 ・体育・スポーツの 学際的科学論II【KR】 ・身体教育特殊研究B【KR】 ・身体教育特殊研究演習B【KR】	高齢者の転倒など日常生活における事故の防止や学校教育での事故の防止、さらには短距離選手の肉離れの防止などに関する研究を行ってきた。最近は、体力の各要員が日常生活の活性化だけでなく、寿命にも影響を及ぼすことが明らかにされ、体力が再認識されているので、児童・生徒や大学生を対象にした体力に関する研究を行っている。
	井福 裕俊 (客員教授)	・体育・スポーツの 学際的科学論II【KR】 ・身体教育特殊研究A【KR】 ・身体教育特殊研究演習A【KR】	生理学・運動生理学の観点から、1)運動や自律神経刺激に対する心臓・循環システムの調節メカニズムの解明、2)運動や自律神経刺激に対するアスリートの循環応答パターンの特徴、および3)運動トレーニングに対する生体適応現象の解明を主として行っている。

②授業担当教員（副指導教員となり得る教員）

区分	氏名（職名）	担当授業科目	研究領域
授業担当教員	坂本 将基 (客員准教授)	・体育・スポーツの 学際的科学論II【KR】 ・身体教育特殊研究A【KR】 ・身体教育特殊研究演習A【KR】	これまで、ヒトが運動のイメージを行っているときの脳活動について、神経生理学的な手法を用いて調べてきた。現在は、主観的な身体の状態と客観的なそれとの間で誤差が生じる現象に着目し、この現象とアスリートの競技特性との関わりについて検討している。
	塩瀬 圭佑 (客員准教授)	・体育・スポーツの 学際的科学論II【KR】 ・身体教育特殊研究B【KR】 ・身体教育特殊研究演習B【KR】	健康や競技パフォーマンスに及ぼす運動と食事の影響について、特に下記のテーマで研究を行っている。1) 競技力向上のための糖質摂取・貯蔵に関する研究、2) 生体電気インピーダンス法による身体組成評価の研究、3) 子どもの生活習慣と健康についての研究

【注意事項】

- 授業科目名に【KR】と付記してある科目については、体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラムとして実施する科目
- 授業科目名に【JISS】と付記してある科目については、国立スポーツ科学センターにおいて開講する科目
- 授業科目名に【夜間】と付記してある科目については、教育方法の特例として夜間（6～7限）に開講する科目